

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 417

政策体系	21	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農林整備課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 5. 農地費 現年		
事業名	森林総合研究所営事業				
細事業名	営農検討業務委託事業				
				評価表作成者	農林商工部 農林整備課 中井 雅宏

1. 事業の概要

森林総合研究所営事業の推進

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

適切かつ計画的な農業基盤の整備を進め、総合的な農地の保全を進める。

② 事業を実施する必要性

農用地総合整備事業の推進が図れる。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	1,504	1,501	900	901			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0			
財源内訳	使用料・手数料等	千円	1,500	1,500	900	900			
	国・府支出金	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	4	1	0	1			
職員等の従事人員		人/年	—	0.05	0.05	0.10			
人件費		千円	—	336	338	699			
事業費総額		千円	—	1,837	1,238	1,600			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

消耗品等事務費 900,795円（需用費、通信運搬費等）

5. 事業結果の概要

消耗品等事務費に支出

6. 活動の詳細

ソフト		
農用地総合整備事業の計画達成に向けた業務を実施した	22.4-23.3	市管内の農畜産物の生産流通等の動向資料作成業務

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

森林総合研究所営・南丹区域農用地総合整備事業の事業進捗を図る。
平成22年度をもって、事業完了した。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

前年度に引き続き、農業基盤の整備を進め、農地の保全を図ってきた。今後は、事業完了を控えるなかで維持管理や環境保全について検討をする必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
計画的な農業基盤の整備を行う
- ②当該事業のアピール事項
農地の保全が図れる
- ③反省点、今後の展開・方向性等
事業整備の実施により、農用地整備の推進が図れる